

ボヘミアン・ラプソディ 熱唱上映

豊橋の映画祭

映画好きの市民有志が企画運営する「とよはしまちなかスロータウン映画祭」の目玉イベントで、観客が歌いながら楽しむ「熱唱上映」が十五日夜、豊橋市西小田原町の穂の国とよはし芸術劇場プラットであった。英ロックバンド「クイーン」の軌跡を描いた二〇一八年の大ヒット映画「ボヘミアン・ラプソディ」に合わせ、約二百七十人が大声で歌うなどして思い切り楽しんだ。

参加者たちは、主人公のボーカル・故フレディ・マーキュリーさんをまねた付けひげを付いたり、タンクトップを着たりと気合十分。開演前には全員で「エーオツ」「ウィ・ウィル・



上映前に主人公にふんじた実行委のメンバー（右手前）が会場を盛り上げた＝豊橋市西小田原町の穂の国とよはし芸術劇場プラットで

ロック・ユー」などと発声練習をした。実行委はマラカスを配って盛り上げた。

一度は解散に追い込まれたバンドが復活する終盤のライブシーンでは、銀幕の

登場人物たちに心を寄せて号泣する観客も。ヒット曲「伝説のチャンピオン」「レディオ・ガガ」など劇

茶山園
アビタ安城南
グエルサウチーク西尾
製造元

中の演奏に合わせて、一斉にこぶしを突き上げたり、足踏みをしたりしながら熱唱した。

同僚のクイーンファンと三人で訪れた岡崎市福岡町の公務員中村さん(三七)は

「はしゃぎすぎてマラカスが壊れるくらい楽しんだ。最後のライブシーンは本当に自分がそこにいるかのような臨場感で、熱気がすごかった」と興奮冷めやらぬ様子だった。(昆野夏子)